

第89回 憲法を考える映画の会

1923

(イチ・キュー・ニーサン) 原題：1923 関東大虐殺

2026年 8月29日 (土)

開場12時30分 13時～16時30分

(開始時間を、いつもより30分早めました。ご注意ください)

文京区民センター 3A会議室

(地下鉄 春日駅 2分・後楽園駅 5分)

■プログラム

12:30～ 開場

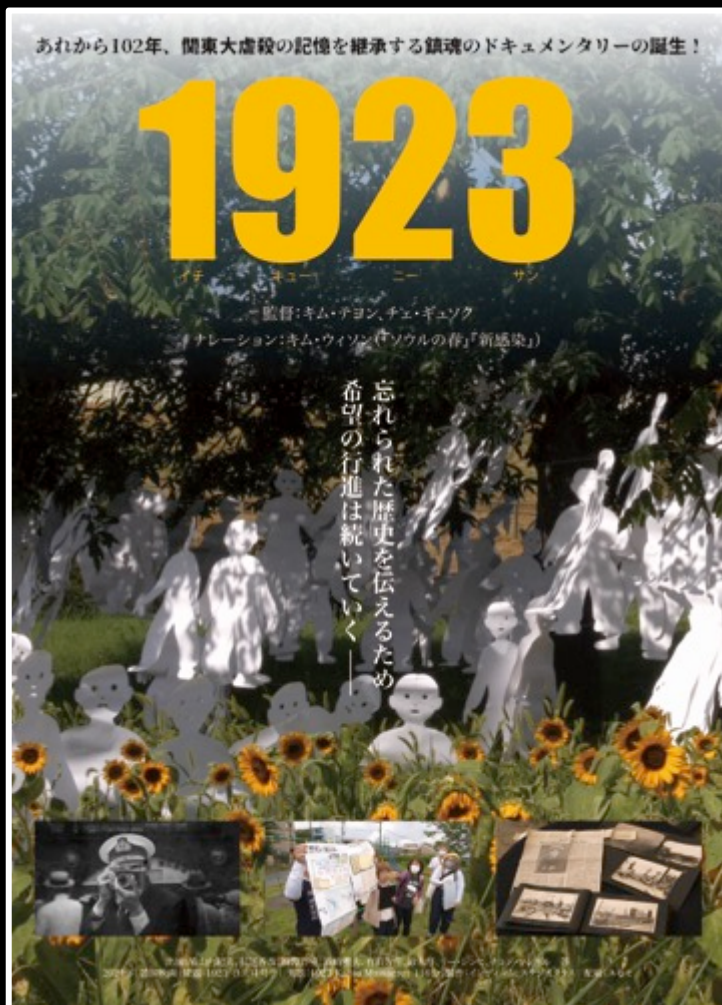
13:00～13:10 今回の作品についての紹介

13:10～15:10 映画『1923』上映 (116分)

15:20～16:30 トークシェア

■参加費：1000円 (若者：無料)

(予約、前売りは行っておりません。参加費は会場でお支払い下さい)



忘れられた歴史を伝えるための希望の行進は続いていく

1923年9月1日、関東大震災によって関東地方一帯が大きな被害を受けた直後、日本国内では混乱と恐怖の中で、根拠のない流言——「朝鮮人が暴動を起こす」というデマが広がった。

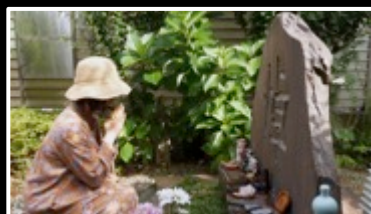
本作は、その震災直後に起きた在日朝鮮人への集団的暴力・虐殺、すなわち関東大虐殺の実態を、日韓両国での膨大な取材と、新資料の検証を通じて再構成し、暴力がどのようにして起きたのか、誰が加害者だったのか—民間の自警団、警察、軍など関与の構図を明らかにするとともに、犠牲者はなぜ「異民族」あるいは「外国人」とみなされ、命を奪われたのかを描き出される。

さらに、101年以上もの間、なぜこの「大虐殺」の事実が公の歴史としてきちんと扱われてこなかったのか、なぜ隠蔽あるいは見過ごされてきたのか—その背景にある差別意識、権力構造、歴史認識の問題にも迫り、被害者の遺族や市民活動家、研究者たちの声を通じて、「忘れ去られた真実」を掘り起こしていく。

犠牲者数「約6,661人」とされるこの事件を、「歴史の闇」として扱うのではなく、後世へ継承されるべき記憶とするための鎮魂のドキュメンタリーが誕生した。

(2024年制作／113分／キム・テヨン チェ・ギョソク監督作品／韓国映画／ドキュメンタリー)

——映画案内チラシより転載



この映画を見て考えたいこと

1923年の関東大震災の直後に起きた「朝鮮・中国人大虐殺」をいつ、何によって知りましたか？ 暴徒と化したのが、一般市民だったことを知って、なぜ、そんなことが起きたのか考えましたか？

その答えを知るためには、それまでの日本と朝鮮の関係、歴史がどのようなものであったかを知らなければなりません。

朝鮮半島を侵略した日本政府と軍部は、周辺民族を蔑み、憎しみを持たせ、そして怖れさせるような宣伝・教育を国を挙げて行っていました。そうした中で大震災の不安につけ込むように一方的な情報(デマ)が流されました。

それは、100年以上前のことで済まされますか？ 今の政治、社会の中にも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。とくに外国人に対する差別や分断、排除、排斥をねらって、無責任で扇動的な情報が流れ流れていませんか？

今、戦争に向かう準備が着々と進められ、それに反対する声を押さえつけようとする法や制度も次々と作られています。根拠のない不安を煽り、「敵は誰だ」とばかりの宣伝も蔓延しています。

私たちは「戦争をしない、させない」ためには、まず近隣の人々と理解し合い、共に生きる友好的な関係を創っていくことが大切と考えます。

韓国のスタッフが日本に取材して日本と朝鮮の歴史と人々の運動を描いたこの映画を見て、自分たちの今を、未来を考えていきたいと思います。

憲法を考える映画の会（関連上映会）これまでの上映作品（2013年4月～2026年6月）

第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本	第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ゾフィー・ショル、最後の日々	第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男	第64回 憲法映画祭2022 4月23日・24日 グレッグひとりぼっちの挑戦／ちむぐりさ／私たちが生きた島／若きハルサーたちの唄／ハーレー市民がつくる町／日本鬼子／映画日本国憲法／コスタリカの奇跡
第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る	第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める	第50回 憲法映画祭2019 4月26日～28日 あの日の声を探して／天皇の名のもとに／証言 侵略戦争／陸軍前線飛行場／沖縄スバイ戦史／ありふれたファシズム／ショックドクトリン／ベトナムから遠く離れて／共犯者たち	第8回 ちいさな映画会 2022年6月25日 ヒトラー VS チャップリン 終わりのない闘い チャップリンの独裁者
第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法	第25回 憲法映画祭2016 5月01日 映画 日本国憲法／ありふれたファシズム／ショック・ドクトリン	自主制作映画見本市 #1 2019年4月30日 死んだらヒマはない／私の描きたいこと ハトは泣いている／隠された爪跡／OKINAWA1975／知事抹殺の真実／フクシマ2011	第65回 2022年8月13日 TOMORROW 明日
第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生	第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり	第51回 2019年6月30日 沖縄から叫ぶ 戦争の時代 宮古島からのSOS	自主制作映画見本市 #9 2022年9月18日 2887／ワタシタチニエンゲング！／葫蘆島通達／岸辺の代
第5回 2013年8月10日 日本の青空	第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代（とき）の肖像	第7回 ちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと／遅すぎた聖断	第66回 2022年10月23日 教育と愛国
第6回 2013年9月14日 ベアテの贈りもの	第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案	第52回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま	第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地
第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン	第29回 2016年10月15日 NO (ノー)	自主制作映画見本市 #2 2019年9月23日 「在日」／証言 中国人強制連行／レーン・宮沢事件／フールージャ／シロウオ／生きるのに理由はいらない	第68回 2023年2月12日 テロリストは誰？
第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件	第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015	特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」 山田晴 先生 遅すぎた聖断	第69回 憲法映画祭2023 4月29日30日 はだしのゲン／対馬丸／うしろの正面だあれ／少女ファニーと運命の旗／ジョニーは戦場へ行った／沖縄うりずんの雨／教育と愛国／ある戦争
第9回 2014年1月18日 ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳	第6回 ちいさな映画会 2016年12月10日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて	第53回 2019年10月26日 ニジノキセキ	第70回 2023年7月16日 ドキュメント石垣島／沖縄、再び戦場へ（仮）スピノフ作品
第10回 2014年2月08日・3月01日 “私”を生きて	第31回 2017年1月29日 横浜事件を生きて 横浜事件 半世紀の問い	特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠近を抱えて PART 2	第71回 2023年8月6日 広島・長崎における原子爆弾の影響
第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて	第32回 2017年2月25日 小林多喜二	第54回 2019年12月08日 主戦場	第72回 2023年10月21日 鶴彬 こころの軌跡
第12回 2014年5月24日 死んだらヒマはない 益永スミコ86歳	第33回 2017年3月26日 武器なき闘い	自主制作映画見本市 #3 2020年1月13日 陸軍前線飛行場／靖国・地霊・天皇 憲法を武器として／9条を抱きしめて 裁判所前の男／選挙が生まれる	第73回 2023年12月23日 流血の記録 砂川
第1回 ちいさな映画会 2014年6月21日 ラブ沖縄	第34回 憲法映画祭2017 4月29・30日 意志の勝利／白バラの祈り／夜と露／顔のないヒトラーたち／戦争をしない国 日本 大東亜戦争／天皇と軍隊	第55回 2020年2月11日 アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和	第74回 2024年2月3日 サイレント・フォールアウト
第13回 2014年7月19日 フルージャ イラク戦争 日本人入国事件…そして	第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実	第56回 2020年9月21日 沖縄と本土 一緒に闘う ヤジと民主主義	第75回 憲法映画祭2024 4月29日 ヤジと民主主義／してはら／荒野に希望の灯をともし／戦争のつくりかた／ミサイル基地がやってきた 島で生きる／サイレント・フォールアウト
第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る	第36回 2017年7月01日 テロリストは誰？	自主制作映画見本市 #4 2020年9月26日 ヒロシマガサキ 最後の二重被爆者 私たちは忘れたい／二つの故郷を生きて 絆／人らしく生きよう／生きるのに理由はいらない	第76回 2024年6月29日 アトミック・カフェ
第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード	第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇	第57回 2020年11月03日 地の塩	第77回 2024年8月11日 生きていてよかった／千羽鶴
第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 速報 辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ	第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 払い下げられた朝鮮人	特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語	第78回 2024年10月14日 琉球弧を戦場にすな
第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート	第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー	自主制作映画見本市 #5 2021年2月23日 天皇の名のもとに／グラニート ザ・思いやり／チェルノブイリハート	第79回 2025年1月12日 映画 O月O日、区長になる女。
第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スペシャルリスト わが青春に憐れし	第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 憲法事件 50年目の真実	第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン	第80回 2025年3月20日 ガザからの報告
第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行	第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 尊皇と行進曲	第59回 憲法映画祭2021 4月17日 戦争のつくりかた／戦争をしない国 日本 シャドー・ディール／1987、ある闘いの真実	第81回 憲法映画祭2025 4月29日 禁じられた遊び／ベアテの贈りもの オン・ザ・ロード／夢みる校長先生
第17回 2015年4月25日 ジャーム・ハダ イラク戦争の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く	第42回 憲法映画祭2018 4月29・30日 すべての政府はウソをつく／ニッポンの嘘 東京裁判／NO／ハトは泣いている トランプのアメリカ	第60回 2021年6月06日 ハワイマレー沖海戦 ドキュメント 真珠湾攻撃／ミッドウエイ海戦	第82回 2025年6月28日 琉球弧を戦場にすな 2025 揮啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと
第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法	第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める	第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし	第83回 2025年8月11日 陸軍
第19回 2015年7月18日 東京裁判	第44回 2018年8月25日 「在日」	自主制作映画見本市 #6 2021年9月26日 外国人収容所の闘い／君が代不成立／終わりの見えない闘い／間に消されてるものか	第84回 2025年10月5日 あの日、群島の戦で
第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 井藤士 布施辰治 天皇の名のもとに	第45回 2018年9月23日 スペシャルリスト 真実なき独裁者	第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史	第85回 2025年12月7日 レーン・宮沢事件
第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと	第46回 2018年11月03日 OKINAWA1965	自主制作映画見本市 #7 2021年12月26日 原爆の町を追われて／ハーレー市民がつくる町 日高線と生きる／作兵衛さんと日本を撮る／いのちの海	第86回 2026年2月8日 日本人はなぜ戦争へ向かったのか “熱狂”はこうして作られた
第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で	第47回 2018年12月08日 南京！南京！	第63回 2022年2月06日 標的	第87回 憲法映画祭2026 4月18日 二十四の晩／ラストメッセージ／ありふれたファシズム／戦争のつくりかた／百姓の百の声
第22回 2015年11月28日 ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実	第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと	自主制作映画見本市 #8 2022年3月13日 傍観者あるいは偶然のテロリスト／海辺の彼女たち／ウィシュマ・サンダマリ／オキユバシヤンティ／メトロレディーブルース	第88回 2026年6月7日 約束と沈黙

●毎回の「映画の会の案内」をご希望の方は、右記のMailアドレスまで、その旨、お知らせください。

憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都調布市市町3-5-6-303
mail: hanasaki33@me.jp
HP: <http://kenpou-eiga.com>